

アルプス中央信用金庫 上半期ディスクロージャー

# ALPS CHUOH SHINKIN BANK REPORT 2020.09



中川村渡場のイチョウ並木



アルプス中央信用金庫

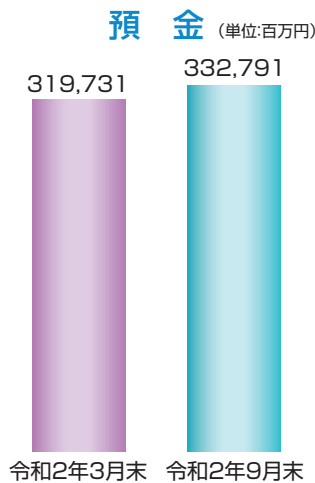
# 令和2年度上半期業績ハイライト

※上半期における財務計数値の記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。  
 ※パーセントについては小数点第3位以下を切り捨てて表記しております。

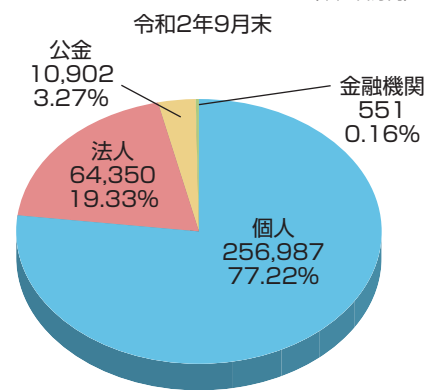
## 預金・貸出金残高の状況

### \* 預金残高 3,327億円

残高は令和2年3月末比130億円(増加率4.08%)、令和元年9月末比121億円(増加率3.79%)増加し、3,327億円となりました。令和2年3月末比の内訳では普通預金を中心とした流動性が147億円増加し、定期性預金は16億円減少いたしました。また、預金者別では、個人のお客様の預金が62億円、法人預金が68億円それぞれ増加いたしました。



### 預金者別内訳 (単位:百万円)

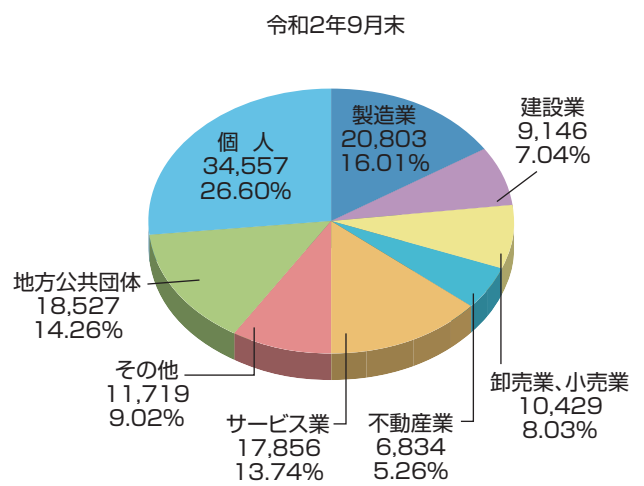


### \* 貸出金残高 1,298億円

新型コロナウイルス感染症対策としてお客様の資金繰り支援に積極的に取り組んだ結果、多数のお申込をいただき、令和2年3月末比24億円(増加率1.89%)、令和元年9月末比64億円(増加率5.26%)増加となりました。個人のお客様向けは新型コロナウイルス感染防止のため個人のお客様さま宅への訪問を自粛させていただいたため、令和2年3月末比6億円減少いたしました。



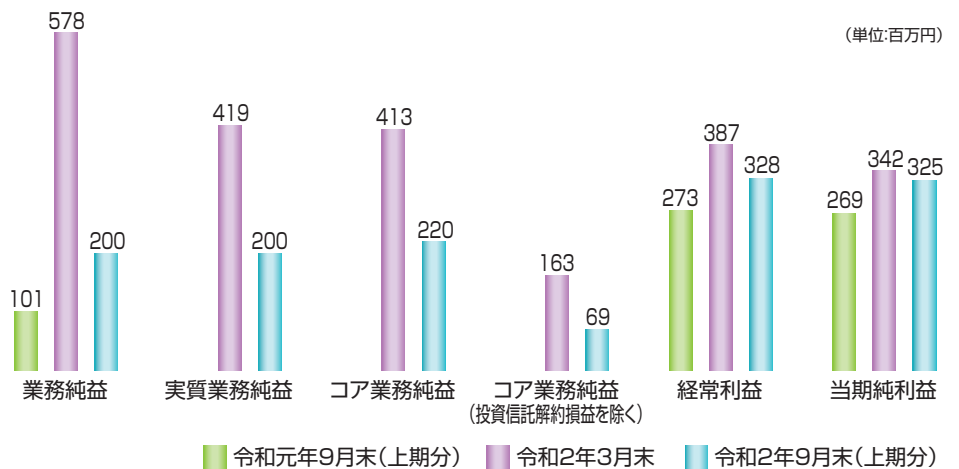
### 業種別内訳 (単位:百万円)



## 損益等の状況

### \* 当期純利益 3億25百万円

日本銀行のマイナス金利政策が長期化しており、厳しい経営環境の中ではありますが、経費削減等に努め、業務純益2億円、経常利益3億28百万円、当期純利益3億25百万円となりました。



業務純益…金融機関の基本的な業務に係る利益を示すものであり、いわゆる本業による利益です。  
 実質業務純益…実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。  
 コア業務純益…実質業務純益から国債等償還損益(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益)を差し引いたものです。  
 経常利益…業務純益を含む業務内、業務外の通常発生する収益から、その収益を得るために発生する費用を差し引いたものです。  
 当期純利益…経常利益に突発的な収益や費用(特別利益・特別損失)を加減し、法人税等を控除したものです。  
 「実質業務純益」「コア業務純益」「コア業務純益(投資信託解約損益を除く)」については、銀行法施行規則等の一部を改正する内閣府令(令和元年9月13日)による改正を受け、令和2年3月末分より開示することとなったため、令和2年3月末分以降を開示しております。なお、「業務純益」「経常利益」「当期純利益」については、昨年度と同様に開示しております。

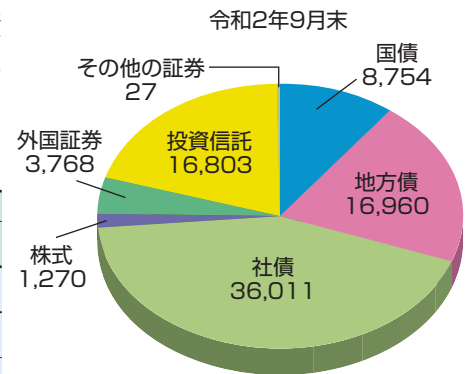
## 有価証券の状況

### \* 有価証券残高 835億円

みなさまからお預かりした大切なご預金は、ご融資のほかに国債・地方債・社債等を中心とした有価証券で運用をしております。安全性や流動性に留意した運用に努めております。

	令和2年3月末			令和2年9月末		
	簿価	時価	差額	簿価	時価	差額
その他有価証券	81,825	82,298	473	81,927	82,871	944
株式	1,275	1,495	220	1,250	1,624	373
債券	57,495	57,915	419	61,376	61,634	257
その他	23,054	22,887	△166	19,299	19,613	313
満期保有目的の債券	1,300	1,227	△72	1,650	1,636	△13
子会社・関連会社株式	20	20	0	20	20	0

### 有価証券種類別残高 (単位:百万円)



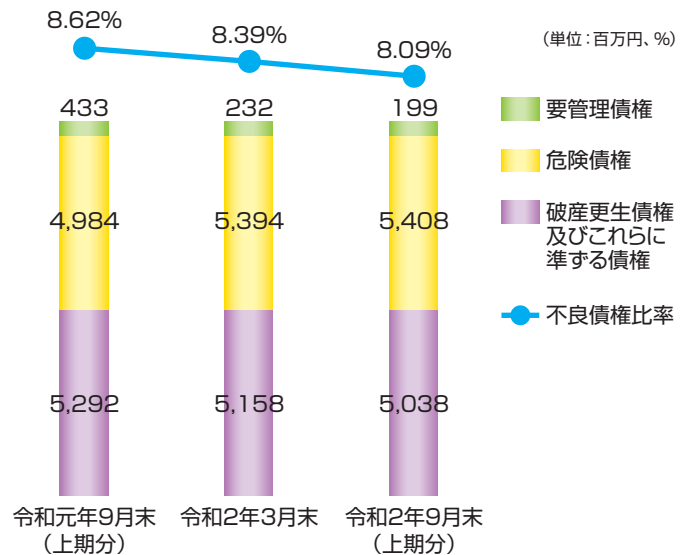
(注) 1. 令和2年9月末の「差額」は、令和2年9月末時点の帳簿価額(償却原価法適用後)と時価の差額を計上しております。  
2. 左記「その他」は、投資信託・外国証券及びその他の証券です。

## 金融再生法開示債権の状況

### \* 不良債権比率 8.09%

金融再生法に基づく不良債権(開示債権)額は、令和2年3月末比1億40百万円減少しました。不良債権比率も0.3%改善し8.09%となりました。担保・保証等による回収見込み額および貸倒引当金の合計による保全率は93.71%となっており、不良債権への対応には万全を期しております。

・金融再生法開示債権は、貸出金のほかに債務保証見返、未収利息などを含みます。  
・「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
・「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。  
・「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

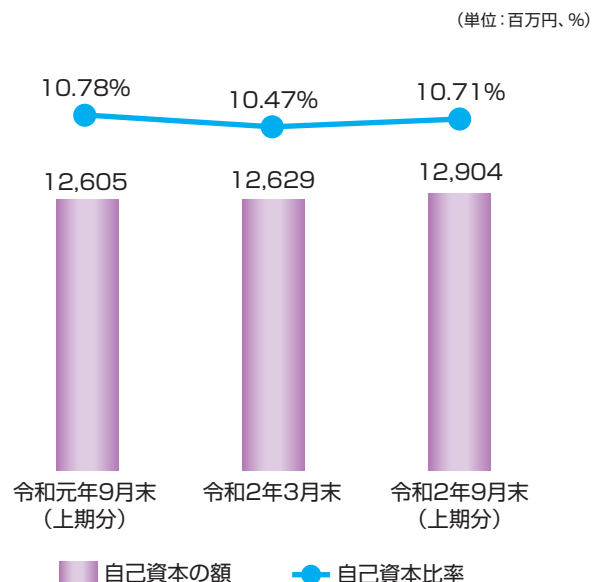


## 自己資本の状況

### \* 自己資本比率 10.71%

令和2年3月末比で、自己資本の額が2億74百万円増加し、リスクアセット等の額が2億円減少したことから、自己資本比率は0.24%改善し10.71%となりました。引き続き、国内基準(4%以上)を上回っており、経営の健全性・安全性を十分に維持しております。

	令和2年3月末	令和2年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	12,864	13,162
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	235	258
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	12,629	12,904
信用リスク・アセットの額の合計額	114,052	113,851
オペレーショナルリスク相当額の合計額を8%で除して得た額	6,522	6,522
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	120,575	120,374
自己資本比率((ハ)/(ニ))	10.47%	10.71%



店舗のご案内 (令和2年11月1日現在)

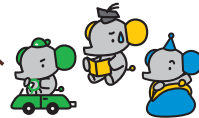
本店	営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265)72-4171
赤穂	営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265)82-3151
宮田	支店	宮田村3320番地3	(0265)85-3300
飯島	支店	飯島町飯島1445番地1	(0265)86-3147
上片桐	支店	松川町上片桐3647番地	(0265)37-2121
赤穂東	支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265)82-6131
福岡	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8 (南支店内)	(0265)82-3141
◎中川	支店	中川村片桐4080番地1	(0265)88-3333
◎南	支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265)82-5507
◎アルプス	支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265)81-1311
伊那北	支店	伊那市山寺3174番地7	(0265)72-3118
辰野	支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266)41-0005
箕輪	支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265)79-2205
◎高遠	支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265)94-2133
◎小野	支店	辰野町大字小野1270番地1	(0266)46-3131
◎宮木	支店	辰野町大字辰野1636番地9 (辰野支店内)	(0266)41-3481
◎春近	支店	伊那市西春近5242番地2	(0265)78-6969
◎竜東	支店	伊那市中央4697番地1	(0265)73-3172
南箕輪	支店	南箕輪村3115番地1	(0265)76-1011
信大前	支店	南箕輪村8304番地72	(0265)76-5551
いほく	支店	箕輪町大字中箕輪1850番地	(0265)79-1300
しんきんローンセンター		伊那市荒井3438番地1 (本店営業部内)	(0265)98-8077

◎印の店舗では11:30~12:30の間、休業をさせていただいております。

住宅ローンに関するご質問・ご相談は  
“しんきんローンセンター”へ!!



住宅ローンをはじめ“各種個人ローン”に関する  
ご質問・ご相談は、お仕事帰りやお休みの日に  
まずは、じっくり話せる  
“しんきんローンセンター”へ  
お気軽にご相談ください。



【場所】アルプス中央信用金庫 本店営業部内

【受付電話】0265-98-8077

【受付時間】平 日：午前10時~午後6時  
土・日曜日：午前10時~午後5時

【休業日】祝祭日、年末年始(12/31~1/3)



あるしんの概要 (令和2年9月30日現在)

本店	長野県伊那市荒井3438番地1
会員数	25,290名
出資金	10億35百万円
預金	3,327億91百万円
貸出金	1,298億72百万円
店舗数	22店舗
常勤役員	251名



アルプス中央信用金庫

ホームページ <http://www.alpuschuo-shinkin.jp>